

增補
和解
西洋事情附錄

290.

H826.2

K



338420

西洋事情増補

題言

一 千歳未發ノ事業ヲ草創セシ者ハ其苦心考究皆
 後學ノ及ブベカラサル所アリ洋學ノ如キ是ナ
 リ往時延享年間青木昆陽前野蘭化始テ奮發シ
 テ事ニ斯ニ從ヒ心カヲ竭シテコレガ基趾ヲ立
 テ以謀ヲ後昆ニ貽セリ慶應ノ今ニ至テ星霜已
 ニ百北餘年繼志ノ輩年ニ増レ月ニ加ハリ翻譯
 ノ業其盛ナルヲ極ムト云ベシ特ニ未タ斯學ヲ
 シテ悉クコレヲ實地ニ用ヒシムルニ及バザル

西洋事情 附録

ノミ當初昆陽子ノ業ヲ起スヤ則以為ク洋説必
 収用スベク洋學必裨益アラント其慧眼ノ照ス
 所實ニ千古ニ卓越スト謂ベシ其鴻業ニ於ルモ
 亦コレヲ金石ニ勒シテ以不朽ニ傳フル堪タリ
 吾先子モ亦掌テコ、ニ見ルコトアリ夙ニ斯ノ學
 ニ從事セント欲ス然ルニ父兄皆コレヲ許サズ
 故ニ輒ヲ舊套ニ襲ヒ經典ヲ治メ操觚ヲ勉メ旁
 ク異書ニ涉レリ終ニ藩學ニ教授タルヲ以餘暇
 ノ他ニ及ボスコトナシ則余ニ命シテ其舊志ヲ繼
 ガシム余命ヲ受テ笈ヲ四方ニ負ヒ研磨スルコト

數年僅ニ譯業ノ一端ヲ領セリ而モ余ガ固陋
 淺固ヨリ斯學ヲ振起スルコト能ハズ先子モ亦其
 時ニ行ハル、コトヲ見ズシテ歿ス爾後稍ク二三
 ノ子弟ヲ誘ヒコレヲ家塾ニ唱フレ氏氣運猶才
 或ハ至ラザルカ歲月荏苒トシテ今ニ十有餘年
 自若トシテ更ニ其進ムコトヲ見ザルナリ頃日偶先
 子ヲ至顧トセル京師ノ書賈某一書ヲ齎來リ謁
 シテ曰近來此書雲顧頗ニ多ク轉買給セズ由テ
 將ニ翻刻ヲ謀ラントス顧フニ書中事情ノ解シ
 難ク原語ノ譯ヲ關ク者アリ今加フルニ補註傍

譯ヲ以セバ刊本更ニ聲價ヲ増シ散布モ從テ廣
 カルベシ敢テ金諾ヲ祈ルト余乃コレヲ一閱シ
 テ曰此ノ書初卷表章スル所專ラ彼邦厚生利用
 ノ良術ナリ豈識者ノ採テ以邦國ニ施サンコトヲ
 庶幾フ歟抑又意ノ託スル所アル歟余ガ述者ニ
 於ル元相ヒ識ラズト雖謾リニ其篤志ヲ慕フテ
 速ニ許諾シ悉ク其乞フ所ノ如クニシテ以授ク
 コレ亦遠ク創業ノ苦心ニ報ビ近ク先子ノ遺憾
 ヲ慰セント欲レテナリ若夫斯學ニ資テ以經務
 ヲ講スルニ至テハ吾醜雖ノ輩萬モ敢テ論シ及

ス所ニアラズ

一 余家苦貧ニシテ藏書寥寥タリ校スルニ方テ引證
 ノ資ルベキナク又學友ノ質スベキナレ尚且政
 ヲトメ采鹽ヲ問ヒ衣食ヲ營ムノ隙ヲ以ス加フ
 ルニ督責甚タ急ナルヲ以倥傯トシテ業ヲ卒フ其
 誤謬ノ如キハ悉ク後賢ノ補正ヲ俟ツ
 一 校正資ル所ノ本唯數部ノ抄譯二三ノ殘簡ノミ
 是即往日東都ニアリテ獲ル所ナリ文久壬戌ノ
 筭余偶々徵辟セラレテ開成所ノ助教トナレリ
 久シク譯官ノ末班ニ陪レ日ニ局中ニ直シテ譯

業ヲ脩ムルニ預ル間亦ソノ儲藏ノ具典ヲ窺ヒ抄録シテ
 以貯フ今乃コレヲ以專ラ校正ノ資トス由テ始テ抄書ノ
 益アルヲ知テ向來功ヲ用ヒシノ蹉跎タルヲ悔ユ
 一先子譯書ヲ見ル頗多シ間纂輯シテ書ヲ作ル者
 アリ就中天保癸卯ノ歲國本謙良防州三田來寓
 間其所説ノ蒸氣新炮説ヲ筆記ス先子名善字元
 民号梁洲國本氏吾師也才名夙ニ發ス惜哉早歿
 一書中ノ時日尺度等悉本邦ノ制ニ從フ又五大
 洲ヲ節畧メ亞ヤ美ミ弗フ歐オ洲ウヲ記ス
 慶應戊辰之春 鞠盧誌

西洋事情增補目次

- 風土篇 此篇專ラ天造人工ノ耳目ニ新ナルモノヲ集メ彼邦ノ光景ヲ想像セシム
- 地道
- 輟道
- 發明館
- 試業
- 國禁
- 疾書術
- 海軍沿革畧論
- 地誌表鈔錄

經務篇 二編○此篇專ラ彼邦ノ
厚生利用ノ事件ヲ集ム

理財

水利

採礦

平價

航海

製造局

石厓

石版

戸口

終

西洋事情増補

藤所 黒田行次郎 輯録

風土篇

地道

本篇蒸氣車ノ條ニ説ク如ク轍道ハ都テ水至ナラ
サルヲ得ズ故ニ山ヲ鑿レテ洞道ヲ通シ谷ヲ埋ヒ
テ長堤ヲ築キ水ヲ絶テ石橋ヲ架スル等奇工甚タ
多シ就中一石橋ノ四層ニコレヲ架シテ其頂高塔
ノ如キアリ皆是轍道ノ常ナリ英國マシヒスナル
地ヨリリフルポール港ニ達スルニ其地形宜キニ

適セズ其府高處ニアリテ路險ナルヲ以存下ノ地
 ヲ穿テ三地道ヲ通レコレヲ港ノ三所ニ導ク其長
 サ六千三百尺町七ナリ其間ナオ十二丈ノ高卑
 ルヲ以其水平ニ達スルノ際更ニ蒸氣機關ヲ施シ
 テコレヲ助ケ或カザルヲ得ズ
 又尋常ノ道路ニモ便ニ從テコレヲ鑿ツテアリ龍
 動ドテームス河ノ地道ノ如キ是ナリ此河現ニ鐵橋
 ニ石橋四ヲ架シテ以往來ニ便ニス其濱橋ト名ク
 ルモノハ天下ノ壯觀ト謂ツベシ橋趾悉ク大理石
 ヲ以コレヲ營築シ長百二十四丈廣四丈二尺アリ

菲金ト四百十四万兩其下流新龍動橋ヨリ以東八大
 造エ六年ニ成ル船ノ往來ヲ遮ルヲ以橋ヲ架スル能ハズ多年通
 路ニ苦シミシニ佛人イサムベルト名ブル子ル名人千
 古ノ奇エヲ臆想シ出シ千八百二十五年文政ヨリ
 超營シ十八年間ノ千辛萬苦ヲ凌ギ得テ一大地道
 ヲ穿開セリ其道タル左右ニ條相ヒ聯ツテ右ハ往
 尤ハ來以車行ノ擊轂ヲ避ク其兩傍ハ更ニ小徑ヲ
 餘シテ以徒行ノ地トス兩側上下皆石以テ甃砌シ
 コレヲ照スニ瓦斯ヲ以テス氣燈ナリ本其明亮ナ
 ルト白日ノ如シ兩道共ニ其穹隆ノ高サニ丈闊サ

一丈四尺長サ百三十丈ナリ其上ナル河底ト下ナル穹頂トノ間厚サ一丈五尺河身ノ中央ナリ又兩岸各螺旋形ニ鑿リ降りタル隧道ヲ設ケテ以洞口ニ達ス從來ノ地道コノ壯宏ニ比スベキ者稀ナリ實ニ鬼エト稱スベシ井按スルニ石橋ヲ架スルノ議アリト聞クコレ亦右等ノ經營ニ比スベキ者ト云フヘシ

輓道

蒸氣車ノ輓道ヲ走り運輸ニ便ナル一已ニ本篇ニ詳カナリ歐羅巴及北北美理格ノ大都府龍動英把勒佛新約克北費拉地費同ノ如キ皆數條ノ輓道四

通ハ達縦横交錯シテ其輻湊スルノ處恰モ蛛網ノ心ノ如シコレノ輓道網ト名ク又陸上ノ傳信線ハ多クハ輓道ト聯行ス○近來ノ說ニ一大傳線ヲ設ケ渾地ヲ一周セシメントスルノ企テアリト聞ケリ若シ又全地ヲ一周スルノ輓道ヲ開ント欲セバ大西洋ヲ除クノ外ハ其形殆ント一周ニ近シ現今魯細亞ノ彼得堡府ヨリ支那ノ北京へ連スルノ輓道ヲ開クノ役盛ナリト聞ケリ輓道ノ經營日ニ増シ月加ハリテ各國コレヲ推行シテ止マズ方今其コレヲ設クル一最長キハ合衆

國北ニ超ル者ナレ其長サ通計五千九百八十二里
アリコレニ次グモノハ英佛ナリ

發明館

國內事務宰相ノ主ル所ニシテ一切ノ事物ヲ創造
スルコトアレバ初メハ極メテコレヲ秘レ微細ニユ
レヲ書記レ或ハ雜形ヲ以コノ館ニ呈ス則諸官相
會合レテコレヲ檢査レ遂ニコレヲ試驗ス其試驗
ニ方テハ各々其職掌ニ歸ス假令ハ車軍務ニ關レ
ハ軍事宰相コレヲ檢査スルノ類ナリ
發檢レ出スノ事物的ニ世ニ益アル者ナレハ國內

國外同盟諸邦へ布告シ嚴ク其價造ヲ禁シ又專賣

ノ公驗余東都ニアリテ譯局ニ藏ムルモノヲ見タ
ナリ文字ヲ刷印スルコトヲ賜フテ製造發兌ノ利盡
通常ノ紙ニ異ナラズ

ク其人ニ歸ス又コレヲ倣ヒ製セント欲スル者ハ
證印ヲ責主ニ乞ヒ受テ税金ヲ交納シ始テコレヲ

公賣スヘレ又公驗ノ外發明ノ次第ニ由テ多少ノ

賞金ヲ賜フ佛蘭西ノ人掌テ船中ノ出火ニ備ルノ

救火衣ヲ創製シ千金ヲ賜ヒ北義理格合衆國ノコ

ル人旋轉銃ヲ始作シテ今ニ其稅ヲ收ムルノ類

ナリ其他ワット名ノ汽機イーン子ル名ノ牛痘等救

舉ニ進アラズ近來幸漏生グレイセン國ノ針銃彈包英國ノ化
 石造營ノ如キハ未タ其術ヲ公布セズ化石造營ハ
 土ヲ造レテ家ヲ造リ屋上ヨリ水ヲ注ケバ悉ク化
 レテ儼然タル石家ヲ成スト云リ物ニノ土水ハ皆藥
 家ノ發檢ニ出ルト云コレ但新聞紙ニ據リテ記スルノミ
 創業ノ大ナル者ハ一舉ニレテ落成セザルヲ多シ
 必改正ヲ待テ事始テ全備ス故ニ出藍ノ譽ヲ得ン
 ト欲スル者反覆鍛鍊シテ改正中興ヲ計ルコレモ
 亦其賞アリ唯發檢者ニ一等ヲ讓ルノミ行按スル
 汽機モ子ウコメン人ヲ祖トシ旋轉銃モ亦已ニ改
 正ヲ經タリ大小銃炮ノ如キハ發明改造頻々ニメ

前年英國新令ヲ出レ合衆國南北部ノ戰爭雄雄ヲ
 決セザルノ間ハ兵器ノ新發明ヲ採用セズト云フ
 又發明ノ事業洪大ニシテ試驗スルヲ能ハザル者
 アリ即ベテ人ノ氣船ノ如シコノ人絶大ナル氣
 船ヲ造ラント欲レテ心思ヲ尽シ一大奇巧ヲ想出
 其船ノ長五十丈四個ノ氣球ヲ設ク每球徑リカ
 丈若コレヲ落成スルヲアレバ大虚ヲ凌キ雲間
 ヲ飛行スルヲ得テ從來捷徑トスルノ航海ニ起
 レト更ニ數等ナラン

試業

本篇論スル如ク西洋諸邦學校ヲ設クルヲ夥シク

子弟ノ教育周密ナルヲ以策トシ互ニ鄰邦ニ駕セ
 ト欲ス學校大中小ノ三等アリ其大學ノ如キハ
 小學中學ノ生徒試業ヲ經テ始テ入學スルノ許ス
 又諸學中最モ重ニスル所ハ法教學ノ古ノ司徒
 學經濟學世界學萬國公法使節學ナリ次ニ醫學博識學
 文章學幾何學博物學ナリ都テ學術科分シテ千百
 ニ至ルト雖教科理科醫科政科文科ノ五宗類ニ統
 括ス其進ムニ從テ試業ヲ受クルノ頻ヤナリ一等
 二等ヨリ下數等ノ階級ヲ設ク諸教師モ亦自ラ等
 級アリテ俸祿ヲ受クルノ多寡アリ又都テ試業ヲ

受ケズレテ官職ニ任セラル、者ナシ則醫師ノ如
 キモ公驗ヲ賜ハラザレハ治療ヲ以業トスルコト
 得ズ因按スルニコレ至極ノ良法ナリコノ法立ク
 洋ノ醫自ラ藥劑ヲ與人命ヲ誤ルコトナカラス又西
 ナレ唯方々處スルノ與フルコト既ニ公驗ヲ獲レハ俸
 祿モコレニ從フコレ全ク人命ヲ重スルノ意ナリ
 其他政治學裁判學使節學用兵學ノ如キ皆同一軌
 轍ニレテ試業ノ法愈嚴ナリ
 古昔學政未起ラサルノ時ハ希臘國ノ七賢ノ如キ
 モ猶窮乏セル者アリ方今ノ如キハ學政周密ニシ
 テ紀綱法度截然トレテ章アリ其學ブ所ニ於ルモ

コレヲ民生ノ實事ニ通用スルヲ務ム故ニ虛名ヲ
 釣テ大家トナル者ナク糊口ニ困ムノ學士ナク治
 療ニ拙ク學醫ナク又傳覽多通ナル商賈アレ氏販
 賣ノ業ヲ陋トシ厭フ丁ナシ且諸國通シテ字形同
 ク字數モ僅ニ二十六字ナリコ、ヲ以書ヲ讀ム
 容易ナリ數日間ニ即チ學ブベシ故ニ彼ノ邦ノ學
 者文藝ニ通ゼザルハナシ國史天文地理算法ノ如
 キ曉ラザル者ハ則人ニ齒ヒス
 歐羅巴ノ大學校百六所アリ萬延元年北美ノ新約
 刊行ノ地誌表ニ據レハ其生徒千人以上ナルモ

ノ十八處二千人以上ナルモノ六處ナリ即把勒都佛
 ノ大學校生徒七千人オクスホルド地五千名カ
 プリヂ地名共五千人オーストリア澳大利國ノウエイ子首
 二千五百人ダブリン愛倫二千二百人フロイ生國ノ
 ナルリ首二千九百人ナリ
 亞細亞洲中ノ諸學校歐羅巴ノ學則ヲ以教育スル
 モノナシ唯魯細亞領ニアル者及セ英ノ印土領ニ
 アルモノノミ

國禁

歐羅巴中大抵法教ノ禁ナシ人々欲スル所ノ教法

ニ從フ但、偶像ヲ禮拜スルノ教ナシ
 全洲生齒ヲ繁殖スルヲ以テ主務トス故ニ苟モ生育
 ニ害アル事件ハ一切ユレヲ禁ズ故ニ隨胎ノ禁男
 色ノ禁極テ嚴ナリ隨胎ノ藥ヲ賣リ胎ヲ墮スルノ
 醫皆刑アリ男色ハ古昔死刑ニ處ヒレシモアリ
 スルニ地誌死海ノ又奴婢ヲ使役スルニ皆殺アル
 條ヲ参考スベシ
 一本篇ニ述ルガ如シ國王大臣ト雖近侍婢僕甚々
 少シテ僅ニ數人ニ過キズ故ニ國ニ怨女ナク曠夫
 ナレ又プロテスタント宗ノ僧ハ髮ヲ蓄ヘ妻ヲ娶
 ル一凡民ニ別ナルナシカトレイキ宗ノ僧モ近代

ニ至リテハ妻ヲ娶ルトテ得タリ唯妻ヲ娶ルモノ
 ハ高貴ノ官ニ昇ルトテ得ス
 上ノミ剃セル者ハ妻ヲ娶ルノ相ナリ往々年暮細
 圖交易奉行ノ父子ト僧官ノ開成所ニ來リレ
 アリ其形相三人同トナリ唯僧官ハ外臺
 ヤ、長ヲ胸前ニ黃金ノ十字版ヲ掛タリ
 日月星宿ノ占候ヲ以吉凶ヲ唱フルモノ宅相陰陽
 ノ說術士厭勝ノ行ヲ以業トスルヲ許サズ
 著書刺書ノ禁ナシ天文曆日ヲ始ノ異學奇説ヲ唱
 フル自由ナリ唯風俗ヲ敗ルノ書ヲ著セバ罰金
 アリ往昔地動説ヲ唱ヘテ幽囚セラレシカ
 アレモ現今ハ右ノ弊ナシ又質本ヲ造リ鑄刻スル

者ハ罰金アリ

産業多シテ遊食スルヲ許サズ阿片煙ヲ喫スルヲ
 禁ジ黒人ヲ賣買スルヲ禁ズ靴近コノ禁益嚴也又
 妻子姪弟ヲ鬻グ者ハコレヲ買フモノ賣ルモノ皆
 重キ罰金アリ故ニ花街ト稱スルモノナク歌妓娼
 婦ナレ間コレニ類スルモノアルハ皆重稅ヲ出シ
 官許ヲ受ケ驗身ノ官券セシ七日毎一回若クハ二回
 ノ全身ヲ精密ニ點檢シテ大醫二員一以上相對シテ女
 ノ有無ヲ檢レテ證印ヲ與フ散本レ有無ノ察レ娼婦ト
 為ナルヲ受テ身自ラ娼ヲ賣ルナリ故ニ父母コレ
 ヲ免ス提調レ或多娼女ヲ養フテ私娼ニ類スルノ業ヲ

為スモノアレハ大ナル責罰アリテ罰金亦甚重シ

疾書術 ステノガラヒ

疾書術ハ近代ノ發明ナリ都テ筆ヲ攪トテ事ヲ記ス
 ルニ速カナルト電光ノ雲ヲ射ル如シ其法通用ノ
 二十六字ニ代ユルニ一種ノ符号ヲ以スコレ唯々
 縱横斜直ナル小直畫ト大小向背ノ半月形及ヒ
 一個ノ小圈ノモ又語ノ首尾ヲ畧省シ熟語復用ナ
 ドヲ一字ニシ其他種々ノ繁シヲ舍テ簡ニ就クノ法
 アリ凡ク議事院ノ會議外國使節ノ應攝大獄裁決
 等皆其坐上ニアリテコレヲ書記シ又大學士ノ都

授珍書撤文等ノ急寫又海陸戰爭中軍監ノ查照簿
 傳信機ノ飛報ノ如キ皆此術ヲ用ユ○ユレヲ學ブ
 如キモ亦銳志拔羣ニレテ記臆絶倫ナルモノ習熟
 スルヲ五年ニシテ其大成ニ至ルト云フ
 疾書術ヲ以記スル者ハ概テ速刷法ヲ以コレヲ刷
 出ノ布告ス其法蒸氣刷印機ノ外人カラ以急速ニ
 刷印スルノ機具アリ即鐵造ノ大飛輪ヲ轉シ齒輪
 ヲ據シテ以運轉ヲ起ス都テコレヲ速刷機ト名ク
 蒸氣ヲ以刷印スル者ハ其法布上ニ印華ヲ施スト
 同一ノ裝置ナリ現今大都ノ刷印場ハ皆コレヲ用

ニ往時ハ皆手刷法ヲ用ヒタリ故ニ大局ニ至テハ
 日ニ千名ヲ用ヒシ者アリ現今ハ千名一日ノ工作
 僅ニ十六名ニシテ足レリト云其効力ヲ省クヲ推
 テ知ルハシ
 工作ノ機具ヲ設クルヤ皆人エヲ省クヲ以至トス
 然レモ徒ニコレヲ畧スルニアラズ其機具ヲ以ス
 ル者ハ其作り出スノ物品皆整齊同一ニシテ絶テ
 誤作アルヲナシ譬ヘバ時辰表ノ如キ其巧ナルヲ
 細毛髮ニ入ルユレ全然機具ヲ施シテ造ル者ナリ
 故ニコレヲ爲スト疾クシテ且整々一様ナリ又摺

附木ノ如キハ一運動ニシテ五百本、鉋出スト言ヘ
リ然ラザレハ皇皆價、廢ナク今日ノ如キニ至ンヤ

海軍沿革畧説

海陸軍沿革説、嘗テ余ガ譯述スル所アリ然レ尺削
勵期ニ迫ルヲ以コレヲ細披スル一能ハス故ニ今
コレヲ抄出シテ其沿革ノ概ヲ知ラシム其全説ノ
如キハ又他日ノ刊行ニ付ス

海戦ノ起ル其始ヲ知ラザル一猶航海ノ如ク然リ
古昔希臘ノ軍船ハ甲板ナク唯一桅ヲ樹テ專ラ櫓
ヲ盪テ進退シ岸ニ泊テ往還スルノミ其形モ亦商

船ト異ル一ナシ唯軍船ハ桅上一冒ヲ掛ク又望樓
ヲ設ケテ弓手ヲシテ樓上ヨリ臨射セシム又葛銅
ヲ以船首ヲ固クシ敵ノ船腹ヲ衝テコレヲ破ルノ
術アリ又巨大ノ金鐘ヲ帆桁上ニ繫ケ力ヲ極メテ
コレヲ敵船ニ擲テ其船底ヲ穿テ沈没セシム
又水手兵士ノ別ナシ兵器モ亦水陸ノ異同ナシ唯
船中ニノミ用ヒシ兵器ハニ丈ノ長槍長柄ノ鎌打
鉤海國女索具ヲ裁断スル刀斧ナリ攻守共ニ敵船
ニ乘リ移リテ勇戦スルヲ主トス其戰ニ臨ムヤ風
ノ有無ニ管セズ悉ク桅檣帆索ヲ徹本ス

古昔ノ海戰未ク陣法アラズ敵船ノ港口ニ侵入スルヲ防クニハ連鑊ヲ以船ヲ維ギ板ヲ列布シテ平地ノ如クシ或ハ鐵尖ヲ設ケタル拒馬木ヲ樹テ或ハ自ラ船ヲ沈メテ港口ヲ塞ギ其入港ヲ拒ム又專ラ火船ヲ用ヒ敵船ヲ焚ク等ナリ

希臘ノ海軍當時赫々トメ其威一世ヲ壓倒ス爾後漸ク衰ヘ加兒太人コレニ代テ其威權ヲ專ラニス其船ハ皆五十掃ヲ施スト云

羅馬人加兒太人ヲ拒ント欲シテ始テ軍船三百二十隻ヲ造ル皆甲板アリ兵士十四五万加兒太人

ト戰テ互ニ勝敗アリ終リニ至テ羅馬人遂ニ凱旋スルヲ得タリ

爾後千三百七十九年天授五年ニ方テ勿チナ擣茶人別ニ一機軸ヲ出レ造船ノ機ヲ變シテ更ニ壯大堅牢ニ造リ裝ニ傾ヲ以レ命シテ船ト云カクコレ船炮ノ祖ナリ千五百年後ハ中等ノ船已ニ十五門ヲ裝セリ其都兒格國トヲ伐ツヤ兵船二百二十隻ヲ率ヒ遂ニコレヲ敗テ海軍ノ威四鄰ニ雷鳴スコレニ次テ興ル者ハ是イスパニヤ班牙ポルトガルノ兩國ナリ即其新世界亞墨利加洲ヲ領スルヲ以國威亦大ニ奮フ然レモ久シク

コレヲ保ツ丁能ハズ
コ、ニ於テ英人勃然トメ興リ海權悉クコレニ歸
レ以今日ニ到レリ其海ヲ籌ルヤ復タ造船ノ模ヲ
改メ其制堅實ヲ極メ務メテ炮數ヲ増シ從來櫓ヲ
用ユルノ陋習ヲ脱シ進退運動唯帆索ヲ操リテ其
速カナルヲ飛ガ知シ

右ノ操法ヲ發檢セシヨリ海戰ノ法亦一變ヌ千五
百十五年永正十一船ヲ造リテ窓ヲ船腹ニ開
キ以炮門トスコレ船中甲板ヲ重ヌルノ始メナリ
コレヨリレテ層々コレヲ増シ重子テ七八層ニ及

シ外面鐵ヲ以コレヲ包ミ炮ヲ環列スルヲ百數十
門儼然トメ拔クベカラザルノ水城ヲ成スニ至リ
ヘシテレッキハ世王海軍法ヲ創撰シ更ニ船尾ノ處
飾ヲ徹シテコレニ代フルニ炮門ヲ以ス又架車運
轉ノ機ヲ發明シテ照準ノ便ニ應レ周發自在ナラ
シムコレニ由テ諸國ノ海軍皆其法ヲ模擬セリ
爾來海戰ノ法漸ク巧ミナレバ合衆國北獨立ノ前

ハ尚未タ其精ヲ得ズ
佛蘭西革命ノ際海上ノ大戰頻數ナリ當時亦英國
ノ海軍猛威鄰邦ニ震ヒ能ク寡ヲ以衆ヲ挫キ頻ニ

偉功ヲ奏セリ就中千八百六年文化三年其將子ルツシ
 戰艦十七隻ヲ以佛班合軍ノ堅艦三十三隻ヲ敗ル
 是即現今ニ到ルマデ海軍攻守ノ軌範トスル所也
 コレヨリ以來海戰ノ法變スル所少レ唯艦彈ト蒸
 氣機ヲ用ユルヲ專務トセハ海戰更ニ猛烈ナルベ
 レ千八百十五年北美人已ニ大蒸氣船ヲ造リ以其港
 ロヲ防守スコレ蒸氣軍艦ノ始メナリ後來水中ヲ
 潜行スル船蒸氣砲ノ機具落成ニ至ラバ戰形復々
 大ニ變替スベシ以上抄出ノ畧文ナリ同按スルニ
 上現出スル僅一尺ナリ然レハ戰記ノ詳
 突船地雷氣船等數種ノ發明アリ然レハ戰記ノ詳

譯未タ公
布セス

地誌表畧

以下地理民風ニ關ルモノニ三ヲ抄出シ

人種多少表柳河氏著

高加索民白人種印度土及

五億四千五百萬

蒙古民

三億

卷毛民黑人

一億

美理格土蕃

一千三百萬

馬來民

三千二百萬

雜種民

一千二百萬

通計十。億。二百万人

法教畧圖 附奉教人數ノコノ表及ビ木篇人種ノ五
刊行セラルル地學 有形ハ獨逸ノセイドリツツガ万延庚申ニ
大旨ニ據ル

特教一神

猶太教 四百五十萬
西洋教 三億四千一百萬
回々教 一億一千三百五十萬

法教 兼敬衆神

波羅門教 前印土
佛 教 後印土

錫蘭 補一億二千三百萬
補三億三千三百萬

偶像禮拜 一億

法教ノ最下ナル者ニ山林泉澤
樹石鳥獸等ノ天造物ヲ祀スリ
甲冑弓矢干戈柱板等久劫ヲ祀スリ

通計十億二千四百萬ニ約數ナレバ前表ト少差アリ

貿易隆盛ノ四國 カラームル氏ノ地學全書ニ據ル

英咭喇 佛蘭西 合衆國 魯細亞

歐羅巴ノ五大強國

魯細亞 澳地利 佛蘭西 英咭喇 亨漏生

萬國政治畧表 萬延庚申北
表ニ據ルニ世界ノ新約
行ノ源淺ニ

從テ分テ四等トス最上開化
符号トシテ次等開化ハ煩車ヲ
符号トシテ輪放ノ光ノ象ヲ

鄙ノ俗ハ弓矢ヲ符号トス

最上開化

佛蘭西 英咭喇 日耳曼 瑞士 瑞丁
白耳義 荷蘭 以太利 那威 噠馬 歐
以上

合衆國 英國領 北以上 里比利 英國領 北以上

次等開化

魯細亞 是班牙 葡萄牙 都兒格 以上

支那亞 委內瑞拉 新加拉那大 厄瓜多

巴西亞 巴拉圭 秘魯 玻里非 智利 烏拉耶

拉巴拉他 南美

半進開化

都兒格 亞辣伯 波斯 阿富汗 俾路芝

印土 暹羅 緬甸 安南 朝鮮 不羈韃靼

滿洲 亞以上 摩羅哥 弗

粗野陋俗

エチオピア 諸部 弗 巴太温南 補 其他歐羅

巴ノ所轄ヲ受サルノ諸邦山海漁獵ヲ以生トス

ルモノノ管コノ類ナリ其内屯悪粗暴言ヲ語ノニ絶ス

オ性々航海人ヲ以牲トスル所アリト云フノ俗猶

抄出表列ス 同上

シベリアル 長百五十四里 闊四十八里

バイカル 長百四十六里 闊十四里

ミンガン 長百三十三里 闊二十四里

グレートスト 長百二十二里 闊三十七里

ヒロン北 長百二里 闊三十六里

世界ノ大河概五十條アリ從來ノ表皆流レノ長短

ヲ以沙序ヲ定ムコレ當然ナリ今新ニ河口ノ濶ヲ

以次序レテ二三ヲ尤ニ表列ス故テ舊ニ戾テ奇ヲ

釣ルニ非ズ亦地學ノ一端ヲ揭グルノ_{引書}同上

亞馬孫南 闊七十二里 長一千四百六十里

長闊皆コレヲ以最大トス上流ノ深サ二十尋

中流ニ入テハ百尋ノ鉤ヲ投ジテ猶オ底ヲ見

不海ニ入テハ流スルノ間猶淡水ナリ潮ノ干

上ルニ從テ逆流スルノ下ノ諸河皆雨候ニ上

ルノ水ニ丈五尺ヨリ十ニ丈ニ至ルアリ今コ

ラ巴拉他銀河他 闊七十里 長九百里

勞稜索合衆 闊二十八里 長八百五十里

揚子江支那 闊十二里半 長一千三百六十里

日尼塞西伯 闊十二里 長一千三百二十里

リオカラテ亞弗 闊四里八町 長未詳

哥倫比合衆 闊四里 長六百四十里

尼羅 闊二里五町 長一千〇五十里

尼日 闊二里四町 長一千二百三十里

奇黎諾哥 闊一里半_{深六寸} 長六百四十里

爾餘ノ大河皆河口ニ列テ分流スルヲ以皆一里ニ

滴タズ然レ片猶遺脱多レ後集二續出スベシ

世界中人工ノ高臺層觀概子三十アリ今其五ヲ抄

出ス引書
同上

セオブノ尖形高臺 肥日多西洋 九十間三尺

アントウルプ首寺 白耳 七十九間二尺

スタラス。ビュルグ首寺 同上 七十九間

レントマルチン 瞻禮堂 ハハイヤ 七十六間

附南京磁塔層四十一間三尺 行按スルニ南京ノ磁塔ハ西書ニ

其經營ノ年月ヲモ記セズ西書ニ曰コレ木塔ニシテ磁板ヲ以圍包スルモノナリ

西洋事情増補終

黒田梁洲先生著述書目

汲古閣本十三經訂誤 十六卷 遊名山記 明都穆著 二卷 已刻

梁洲遺稿 文二卷 詩一卷 三卷 梁洲漫筆 二卷

博物新誌 二卷 蒸氣新炮説 一卷

黒田行次郎著述書目

漂荒紀事 活版 三卷 西洋百官志 十卷

天學概論 圖入 五卷 兵制沿革論 二卷

天象新説 圖入 三卷 泰西揚世夫傳 一卷

海外奇觀 五卷 梵西同軌 一卷

地學大旨 圖入 五卷 西洋星象名義解 一卷

水海航記一卷
燃犀新錄一卷

慶應四年戊辰

六月官許

吉野屋仁兵衛

吉野屋甚助

堺屋仁兵衛

田中屋專助

林芳兵衛

皇都

書林

